

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：歯科衛生学科 名前：有本 錦 作成日：2024年12月20日

1. 教育の責任

「専門知識と高度な技術を習得し、歯・口腔の健康を通じ社会に貢献できる人材育成が可能な教育課程の編成」という本学科のカリキュラム・ポリシーを踏まえ、歯科衛生士が医療従事者であることの責任感を持ち、対象者の様々な歯科・口腔に関連したニーズに対応できる能力を育成する。

2. 教育の理念

「情操豊かな教養ある人格の完成を目指した学園創立の精神に基づき、専門の学芸を教授研究し、職業及び实际生活に必要な能力を育成し、もって社会の発展に貢献し得る人材を教育する」との本学の教育目的に基づいて、他者を思いやる精神をもち、広い視野で社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

3. 教育の方法

本学科の「歯科衛生に関する知識と高度な技術の習得と、多様な人間関係に必須なコミュニケーション能力をもつ」というディプロマ・ポリシーと関連して、講義や実習で修得した基礎的知識、技術をもとに、臨床臨地実習を通して医療現場に強い歯科衛生士を育成することを目指す。

現在担当している科目は、「歯科予防処置Ⅰ」、「歯科予防処置Ⅱ」、「歯科保健指導Ⅲ」、「臨床臨地実習Ⅰ」、「臨床臨地実習Ⅱ」、「地域歯科保健実習Ⅰ」、「地域歯科保健実習Ⅱ」である。

歯科予防処置は、対象者の口腔の健康を維持、増進することを目的とした歯科的予防行為を学ぶ。歯石除去、機械的歯面清掃など歯科衛生士として必要な専門技術を確実に修得できるようマネキンを用いた訓練で十分に基礎を固め、さらに相互実習では安全に配慮しながら、実際の口腔内で、実技の向上を目指す。

歯科保健指導では、個人及び集団に対し、歯科保健行動に変容させる支援の方法を学ぶ。対象者に合わせたコミュニケーションが必要とされるため、他者が理解し、伝わる説明ができるようグループ学習を取り入れ授業をすすめている。

4. 教育の成果

・授業実践の工夫

実習ではこれから行う操作を学生が確認し理解したうえで、行動・模倣できるよう、手技は学生一人ひとりのモニターに教員によるデモンストレーションをライブ配信している。また、教員が順番に個人指導にあたる間も他の学生が自分の手技を確認できるよう、事前に撮影した動画を準備し、モニターで配信する工夫を行っている。

・授業アンケートによる評価

授業アンケートの自由記述意見では、授業資料が分かりやすい、細やかに実技指導をしてほしいという意見があった。引き続き、学生が知識を整理しやすい資料作り、学生個人の成長に応じた実技指導を行ってきたい。

5. 改善への努力と今後の目標

歯科衛生士3大業務の1つである歯科予防処置では、基礎的な技術を習得するだけでなく、口腔内状況に加えて生活環境など個人の背景を考慮し、歯科衛生介入の計画立案を行い患者を思いやることのできる歯科衛生士を養成できるよう努めたい。

【添付資料】

なし